



特別寄稿 柏門技術士会の活動

柏門技術士会
会長

安部 毅



2024 年 6 月に六代目会長を拝命した安部です。
東京都市大学柏門技術士会は、2003 年 9 月に設立、
2023 年に創立 20 周年記念式典を開催しました。

1. 柏門技術士会の概要

表－1 柏門技術士会の委員会と会務分掌

委員会名	分掌事項
総務委員会	会則・細則の制定・改訂、会員管理、 総会及び理事会運営、事務局事務
広報委員会	会報誌の作成・発行、ホームページの 運営、会員への広報活動
教育委員会	特別講義（ <i>ケーススタディ</i> ）の実施、その他 の教育に関する企画と運営
企画渉外委員会	見学会・講演会等の運営、本学・日本 技術士会等関連組織との交流
試験支援委員会	技術士制度のガイダンス及び特別講 義、技術士資格取得に関する運営

柏門技術士会は、母校である東京都市大学及び前

身校（2009 年、武蔵工業大学と東横学園女子短期
大学が統合し「東京都市大学」に校名変更）の卒業
生等から構成され、会員相互の交流、研鑽に併せて
本学の教育、研究への協力、支援、発展に寄与し、
もって社会に貢献することを目的としています。

この目的達成のために、表－1 に示す 5 つの委員
会を設置し、活動を行っています。

2. 講演会・見学会の実施

設立時から、学内外から講師をお招きして講演会
を開催してきました。また、例年 6 月に行う総会時
に特別講演を企画しています。

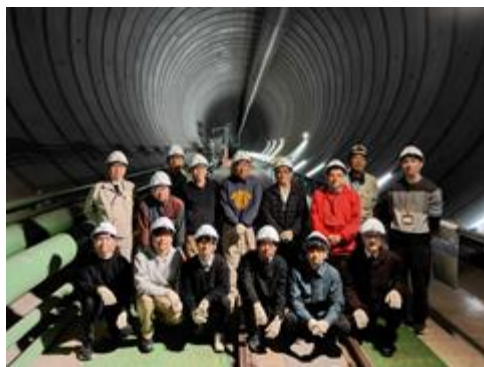
2025 年は、本学副学長の坂井文氏から「公民連
携の都市空間マネジメント～公共空間の持続可能
な展開」を題目としたご講演をいただきました。



写真－1 特別講演（講師：坂井文副学長）

また、適宜 CPD 見学会を実施しています。施設
や工事の現場が中心ですが、コロナ禍時には、鎌倉
のまち歩きや国立研究開発法人物質・材料研究機構
の WEB・リモート見学会なども行いました。

2024 年 12 月には、東京都建設局が施工してい
る「環状七号線地下広域調整池」の現場見学会を、
2025 年 7 月には、「本学王禅寺キャンパス原子力
研究所」の施設見学会を開催しました。



写真－2 CPD 見学会（環七地下調節池）



写真－3 特別講義

（日本技術士会本部 DEI 委員会との連携）

見学会には、会員だけでなく、大学の先生や学生の参加もあり、見学会の後に行う意見交換会では、参加者間の親睦を深める貴重な場になっています。

3. 大学講義への講師派遣

柏門技術士会では、大学との連携により、大学の講義への講師派遣を行っています。

2005 年度から、都市基盤工学科（現都市工学科）の技術者倫理講義への講師派遣を行い、実例を題材にした講義とディスカッションを行っています。この講義は、当学科が JABEE 認定を受ける際、審査団から「技術者倫理教育の体系的な設計強化」について指摘を受けたことに端を発しています。

2017 年度から、環境学部のある横浜キャンパスで、特別講義（技術士補コース）を開講し講師を派遣、修習技術者になるための講義により、学生への第一次試験受験奨励を行っています。この講義は、学園祭で弊会のブースを設けた際、技術士に関心を寄せ学生への奨励を進めたいとの意向をお持ちの先生との出会いから始まりました。

2024 年には日本技術士会 DEI 委員会の飯島委員長にゲストスピーカーとして登壇いただきました。

4. 学生への第一次試験受験奨励

近年、進学や就職活動に有利なこともあり、大学在学中に技術士第一試験を受験する比率が高まっていて、既に合格者の 2 割に達している状況です。

大学技術士会連絡協議会（大技連）の情報による

と、2013 年は本学現役学生の合格者数がたった 1 名という寂しい結果でした。

在学中の第一次試験受験は、早い段階から技術士を意識し、また将来の技術士取得に繋がるとの認識の下、弊会としてこの状況をなんとか打破したいと思案していたところ、前述の先生との出会いもあり、まずは 2016 年度、横浜キャンパスにて第一次試験のガイダンスと模擬試験を開始しました。

その後、模擬試験は全学部を対象に行うようになり、2017 年度には先述した特別講義が開講するほか、新入生のオリエンテーションや 3 年生のキャリア開発講義で技術士を PR する機会も設けられるようになりました。

さらに、本学校友会との連携により、本学学生の合格者を対象として、第一次試験受験料を全額助成する制度を 2016 年から開始しました。

これらの取組により、学生の受験意識が高まり、合格者も徐々に増え、2018 年度には在学中の合格者数が環境部門で全国 1 位、2020 年には在学中全体の合格者数が 52 名、全国 3 位（私大 2 位）となるなど、取り組んできた我々にとっては大変喜ばしい成績を残せるようになりました。

5. 今後の「会のあり方」の検討

弊会も他の多くの大学技術士会と同様、役員の高齢化、新会員の発掘が課題になっています。

このため、HP を自ら更新できるようマニュアル

を整備するほか、PT を立ち上げ、少しでも改善が図られるよう、また具体的なアクションを起こすべく改革の検討を行っています。

大技連加盟校 36 校のデータを見ると、多く（実に 6 割以上）の会が会費無料で運営を進めています。本会も、会員へのサービスを維持しつつ、会費ゼロを目標に、何ができるのか活発な議論を行っているところです。

今後とも、互いの会の発展のため、京都大学技術士会をはじめ、各大学技術士会との連携と情報共有を行っていきたいと考えています。

第 21 回講演会開催



講師の浅利美鈴様

2025 年 9 月 16 日に第 21 回講演会が東京丸の内の京都大学東京オフィスにて開催されました。今回は、総合地球環境学研究所・副所長の浅利美鈴教授（工学研究科、2004 年工学博士）を講師にお招きして、「ごみは意外に雄弁だ」という題目でご講演をいただきました。

この講演会は、会場である京都大学東京オフィスからオンライン（Zoom、YouTube）でも配信され、会場とオンライン合わせて約 150 名の方の参加申込みがありました。

浅利先生のご講演では、先生が京都大学の学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げたというエピソードから始まり、京都市と共同で 40 年以上続けている

ごみの分別調査についてご紹介いただきました。時代とともに捨てられているごみの種類や傾向に変化はあるものの、一般市民がいかに無駄にごみを排出しているかということを、改めて実感させられたお話でした。「大量生産・大量消費・大量廃棄」の時代から脱却し、「資源循環型社会」へと転換していくことを目指して、里山での SDGs の取り組みや京都京北での生ごみバイオガス化実証試験、さらには大阪・関西万博での先進的な取り組みなどについてご説明いただき、大変興味深い講演となりました。

第 34 回

「技術士を目指そう」説明会開催

ホームカミングデーの 2025 年 11 月 1 日（土）京都大学吉田キャンパス総合研究 8 号館講義室 2 において第 34 回「技術士を目指そう」説明会が開催され、現地 2 名、オンライン 1 名（いずれも社会人）の参加がありました。

上田泰史幹事（農学研究科 1983 年修了、環境部門・総合技術監理部門）の司会進行の下、まず佐伯賢一副代表幹事（工学研究科 1994 年修了、建設部門）から技術士制度の概要、資格の法的・社会的な位置づけ、求められる資質や能力、試験制度と受験資格についての説明がありました。

続いて、これまでは当会幹事が発表していた「技術士による体験談」を、今回初の試みとして一般会員より募集した大西透会員（農学研究科 1993 年修了、農業部門・総合技術監理部門）、藤井茂貴会員（農学研究科 2013 年修了、生物工学部門）、亀田佳代子会員（理学研究科 1999 年修了、情報工学部門・総合技術監理部門）の 3 氏それぞれから、参考にした書籍や勉強法、さらには筆記具の選び方まで受験の際の体験談が披露されました。その後の質疑応答では参加者からの質問に対し、先輩技術士からより詳しい内容の回答がありました。

第 3 回 会員交流サロン開催

2025 年 11 月 1 日（土）京都大学吉田キャンパス総合研究 8 号館講義室 2 において、第 3 回会員交流サロンが会員 23 名の参加で開催され、以下の 5 名から話題を提供いただきました（発表順）。



岡田正広会員：「MOT と知財管理」と題して技術士としての観点から見る知財戦略について



大西透会員：食品素材としての不凍素材の開発とマーケティングについて



綾木光弘参与：日本技術士会近畿本部万博委員会、環境カウンセラーとしての活動、大阪科学技術センターでのカーボンニュートラルに関する活動についての業務報告



水田潤一幹事：自社経営戦略に関する業務報告



大津宏康会長：一般企業勤務経験から大学・高専教員としての経験を踏まえた若手人材育成に関する意見

第 13 回 大会・特別講演会開催



特別講演会講師の村中俊哉様

京都大学ホームカミングデーに合わせて、2025 年 11 月 1 日（土）京都大学技術士会第 13 回大会・特別講演会が京大吉田キャンパス総合研究 8 号館と Web 配信で開催されました。今回は、会場 32 名、Web11 名、合計 43 名の参加がありました。

講演会に先立ち、大津宏康会長（工学研究科 1981 年修了）の挨拶があり、京都大学技術士会が京都大学同窓会の中の任意団体の中で最大であることのご紹介があり、それに続いて、嶋田弘僧代表幹事（工学研究科 1980 年修了）から活動報告として、2024 年度の事業・決算報告と 2025 年度の事業・予算報告、および、活動内容の説明がありました。

次に、講演として大阪大学先導的学際研究機構の村中俊哉特任教授（農学研究科 1985 年修了）から、『ゲノム編集技術を用いた「産業植物」で食のミライをかえる！』と題してご講演頂きました。

植物体から抽出して作る物質で化学合成では難しいものを、代謝工学・合成生物学で生成する研究について、甘草から作る薬と、ジャガイモに含まれる毒を題材にご講演して頂きました。ジャガイモについては、毒の要素を減らすことに加えて、芽が発芽しにくいジャガイモをゲノム編集で作ることで、長期保存が可能なジャガイモを作成する研究が進んでいることのご紹介がありました。その上で、ヒトの健康を支え、地球環境を守る「産業植物」を通じて食の未来を変える取り組みのご説明がありまし

た。ご講演の後の質問においては、10 名を超える会員から活発な質問があり、理解を深めることができました。



参加者による記念撮影

第 2 回 親睦ゴルフコンペ開催

2025 年 7 月 20 日（日）に埼玉県の西武園ゴルフ場にて、京都大学技術士会の関東地区有志による親睦ゴルフコンペを開催いたしました。関東地区で親睦ゴルフコンペを開催するのは昨年に引き続き、今回が 2 回目となります。当日は気温が 30℃を上回る猛暑の中、熱中症に注意しながら、参加者 8 人でラウンドして親睦を深めました。そして、栄えある優勝者は築地功幹事でした。今回は京都大学技術士会の有志で開催いたしましたが、将来的にはゴルフ好きの会員の方々にもご参加いただき、交流・親睦を深める機会にしていければと考えております。



参加者による記念撮影

新規会員の自己紹介

加古 聡一郎



皆様はじめまして。加古聡一郎と申します。

私は 1986 年から昨年 6 月まで 38 年余り、首都高速道路株式会社（入社当時は首都高速道路公団）で勤務しました。現在は首都高技術株式会社という建設コンサル会社で、土木構造物や諸設備の点検・調査、設計、施工管理、積算といった事業に携わっています。

技術士資格は 1995 年に建設部門（道路）、2005 年に総合技術監理部門を取得しました。当時社内には技術士資格を持つ社員はごく僅かだったので相談できる人がおらず、我流で試験対策を練ったことを覚えています。かなり昔の経験なのでお役に立つかわかりませんが、微力ながら何かお手伝いできれば幸いです。どうぞよろしくお願いします。

【1986 年工学部卒、総合技術監理部門・建設部門、首都高技術株式会社】

井上 直樹



はじめまして、井上直樹と申します。

京都大学で土木工学を学んだ後、株式会社奥村組に入社し、山岳トンネルプロジェクトや海外駐在などに 28 年ほど従事しました。

仕事の関係で、法律の知識をマスターしようと

思って勉強をしていたところ、幸いにも予備試験、司法試験に合格したので、思い切って第二の人生を弁護士として過ごすことにしました。

現在、いわゆるマチ弁として様々な事件を取り扱っていますが、建設関連の相談が来ると、少し嬉しく思ったりもします（不謹慎ですが）。

どうぞよろしくお願いいたします。

【1995 年工学研究科修了、建設部門、いつわ法律事務所】

藤川 立誠



この度、新規入会致しました藤川です。

1996 年に工学研究科（機械工学専攻）を修了後、三菱重工業に入社し、以来 30 年近く蒸気タービンの仕事に従事しています。

技術士については、2024 年度の二次試験（機械部門）で合格し、2025 年度に登録したばかりですが、今後、技術士としての更なる資質向上を図るべく、地道に自己研鑽を継続していく所存です。当技術士会も研鑽の場として活用させて頂きたいと考えておりますので、今後とも宜しく御願い致します。

【1996 年工学研究科修了、機械部門、三菱重工業株式会社】

高岡 奈々恵



はじめまして、高岡と申します。

学部では河川防災、院では景観設計学を学んだ後、中央復建コンサルタンツ（株）に入社し、主に人を中心とした道路空間再編事業の計画、設計、運用に関わっています。建設コンサルタンツ協会の活動にも参加しており、協会活動の場で大津先生から紹介を受けて本会を知り、入会いたしました。

学生時代はマンドリンオーケストラに所属しており、楽器や旅行を趣味にしています。今後ともよろしくお願いいたします。

【2021 年工学研究科修了、建設部門、中央復建コンサルタンツ株式会社】

森 英郎



はじめまして。令和 7 年 5 月に技術士登録しました森英郎（もりひでお）でございます。昭和 37 年兵庫県尼崎市生まれ、昭和 62 年に我が母校の理学部修士課程修了後、今はなき協和発酵工業に入社し、微生物を用いた有用物質生産法の開発に長く携わりました。現在所属する三菱商事ライフサイエンスは、様々な会社の食品部門が三菱商事に M&A・統合化され現在の形になっており、旧・協和発酵工業の食品部門も吸収されています。今はシニアフェローとして、研究開発企画や海外申請などを担当しています。65 歳もすぐそこ、ご奉公も残り少なく、年とともにフットワークが悪くなりましたが、経験値豊かなジジイです。大学時代は馬術部にどっぷり漬かっておりました。どうぞお見知りおきください。よろしくお願い申し上げます。

【1987 年理学研究科修了、生物工学部門、三菱商事ライフサイエンス株式会社】

西嶋 真幸



はじめまして、西嶋真幸と申します。

平成 10 年度に工学研究科環境工学専攻を修了しました。建設コンサルタント会社で再生可能エネルギー、バイオマス、災害廃棄物、各種リサイクル計画といった分野の計画系の仕事に多く携わってきました。平成 21 年度に衛生工学部門（廃棄物管理）を取得し、登録しました。

最近では、出張先でおいしいものを食べることと地元のリーグクラブの試合観戦を楽しんでいます。京大技術士会では、様々な分野の専門の方々と交流を図ることから、自身の視野も広がっていかねばと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

【1998 年工学研究科修了、衛生工学部門、株式会社東洋設計】

一次試験合格で準会員として入会できます。
準会員の入会もお待ちしています。

会員の自由投稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自由投稿を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

《自由投稿 執筆要領》

- ① 標題（概ね 10 文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に 300 文字程度）
- ③ 最終行 【】 内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入

④ 顔写真（JPEG 形式）

《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

会員の皆様へ

1. 入会・登録情報変更方法

[京都大学技術士会ホームページ](#)から必要な情報をお送りください。最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、[ホームページ](#)からお願いします。

編集後記

関東に移り住んで 32 年、意外と行ったことのない行楽地が多いことに気づき、最近は一人でうろついています。今年だけで、筑波山・相州大山・犬吠埼・鋸山など。その中でも極めつけは栃木・足利の「行道山浄因寺」。北斎の「足利行道山くものかけはし」と題した版画で知られますが夏の盛りで誰もおらず本当に一人だけでした。

（今西 秀公 1993 年工学研究科修了、建設部門・総合技術監理部門、前田建設工業株式会社）